

言語技術の効果的な活用・言語活動の充実を図った  
英語科の授業実践例

安芸太田町立筒賀学校

1 学年・単元名 第1学年

Unit6 カナダの学校 (NEW HORIZON ENGLISH COURSE 1)

2 本時の目標 What time ...?などを使って質問ゲームに積極的に参加し,学習した文の語順・用法を使って,正しく質問したり答えたりすることができる。

3 本時の工夫点 相手や目的に応じて必要な情報を整理・分析して聞く・話す活動を通して,Speakingの技能を伸ばし,重要文の理解とその定着を図る。そのために,情報となる視覚教材として,スムーズに発話を促すことのできる絵・写真などを準備する。

4 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
<p>1 本時で使用する新出単語や語句の確認 Target Sentencesの確認</p>	<p>・ 基本的事項と家庭学習の成果の確認。</p> <p>音声(発音)のチェックを行ってから筆記テストを行い,定着度を高める。</p> <p>What time is it in <u>London</u> now ? It's eleven <u>forty- three</u> <u>in the evening</u>. How's the weather? It's <u>sunny</u>.</p>	<p>・ 筆記テスト</p>
<p>2 ペアワークやグループワークによる演習 ALTやJTへのQ&amp;A</p>	<p>情報を的確に分析する技術 複数の情報として,時間(アナログ・デジタル時計)・天気(お天気マークや写真)・場所(主要都市の写真)や世界地図と時刻・天気が書かれたカードなどを組み合わせて提示し,比較させる。それを英語で質問し,情報を整理・分析しながら,英語で答えさせる。</p> <p>・ 指導者との演習によって,生徒自身に定着度を意識させ,練習の目標をもたせながら進める。</p>	<p>・ What time ...?など習った文を使って,正しく質問したり答えたりすることができる。</p>
<p>3 まとめる 自己の学習の振り返りと次回への目標確認</p>	<p>本時で学習した文法的な内容を「書かせる」ことによって,確認し,理解の定着を自己確認させる。</p>	<p>(行動観察)</p>